

“絆”きずな

事業所リレーエッセイ パートII ゆずる

「入院を経験して」

ゆずるに入職し1年が経ちました。宮古市・山田町は地域のイベントが多く、景色と共に四季折々の表情を楽しむことができます。素敵な景色が多く、訪問の合間に癒されています。実は先日入院・手術し、現在は松葉杖を使用しています。運転することができないため、他スタッフと共に利用者様のところへ訪問しています。当事業所にはSTが一人のため、利用者様にもご迷惑をおかけしました。患者側になり、色々と考えることが出来ましたし、改めて説明と同意、コミュニケーションの重要性を感じました。今回の経験を生かして、利用者様の気持ちを感じつつ、支えていただいた方々に少しずつ感謝の思いを伝えていけるようにしていきたいと思えます。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 山本美琴子
宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる 言語聴覚士

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介③④ 岡山県編

岡山県では、放課後児童クラブと作業療法士が連携した事業が各地で行われています。県内の福祉系企業が窓口となり岡山県の学童保育連絡協議会から業務依頼を受け、そこから保険外サービスとして訪問看護ステーションに委託業務契約を行います。訪問看護ステーションから作業療法士が赴き、支援員へのスーパーバイズを行っています。対象となるのは主に発達障害として診断を受けていないけれど、集団で適応できないお子さん達です。

実際の活動は「主には過敏になっている感覚へ配慮した環境調整のアドバイスや、その子に分かりやすい伝達方法を指導者へ伝えることです。」とのことでした。岡山では以前から職能団体として多くの先輩方が発達障害の分野においてもご尽力されていた背景もあり、このような事業モデルが生まれたのだと思えます。

岡山県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士 岩井 宏明
株式会社 創心會

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in 兵庫県

私が初めて訪問リハビリに行ったのは、平成13年5月17日です。それから、多くの利用者さんとの出会いがありました。自宅に行って理学療法を実施するだけではなく、コミュニケーション能力や説明力など多くの事を身につけさせて頂きました。また、終末期の利用者さんに関わることで、治療するだけではなく、本人・家族に寄り添う事の重要性も学びました。理学療法を実施して元気になられた時も充実感もありましたが、それ以上に上手く寄り添えた時の達成感は格別で、それが魅力だと思います。

訪問リハビリに興味のある方は、是非経験してもらいたいと思います。利用者さんの自宅での生活を知り、リハビリを実施する事で、自分の仕事に対する感性や世界観が変わると思います。

兵庫県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 辻 真人
兵庫県3士会合同研修会実行委員会

《お知らせ》

★平成29年度 訪問リハビリテーションフォーラム パートII 開催について

日時：平成30年2月18日(日) 9:30~

場所：岩手県盛岡市 ホテルニューカリーナ

主催：日本介護支援専門員協会、日本理学療法士会協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会

※詳細は近日中に財団ホームページにアップします。ご確認ください。